

## 事業成果報告書

### 〔取組Ⅰ〕 都道府県教育委員会による小中一貫教育推進に関する取組

1. 都道府県教育委員会名 : 鹿児島県教育委員会
2. 取組の名称 : 平成29年度「小中一貫教育推進事業」  
※事業完了報告書表紙の「1. 事業の名称」と同じ名称になります。

#### 3. 事業の実績

##### (1) 事業のねらい

校種間の移行を円滑にするための具体的な方策等に関する実践的研究をモデル地域（6市町）において進めるとともに、その成果普及により、本県における学校段階間の連携や小中一貫教育の一層の推進を図る。また、県総合教育センターや県教育委員会教職員課及び大学等との連携により教員研修のモデルプログラムを開発するとともに、教員採用・人事交流等の在り方の改善を図る。事業推進に当たっては、県内外の有識者等をメンバーに加えた「県小中一貫教育推進協議会」を組織し、客観的な評価も取り入れながら計画の具体化を図っていく。

※〔取組Ⅰ〕〔取組Ⅱ〕の両方を含む事業全体のねらいについて、簡潔に記載すること。  
※必要に応じて、適宜、枠を広げること。

##### (2) 事業の実施状況

- モデル地域、モデル校の委託を行った。
- 県小中一貫教育推進協議会委員の選任並びに協議会を設置し、開催した。
- 県小中一貫教育推進協議会や県小中一貫教育フォーラムを開催した。
- 県外の先進地（京都府、埼玉県、千葉県）を視察し、学校の取組について研修を行った。
- 全国小中一貫教育フォーラムに参加し、先進的な取組を参考にした。
- 県小中一貫教育連絡協議会との連携を図り、次年度からの連携について協議した。

※〔取組Ⅰ〕〔取組Ⅱ〕の両方を含む事業全体の実施状況について、簡潔に記載すること。  
※必要に応じて、適宜、枠を広げること。

##### (3) 事業の成果

- モデル地域6市町と大学（有識者）、関係教育事務所、県総合教育センター、県教育委員会との間で鹿児島県小中一貫教育推進協議会を開催し、進捗状況の確認や次年度の取組などについて協議することができた。
- 県小中一貫教育フォーラムを開催し、小中一貫教育の具体的な実践例や進め方について情報発信ができた。
- モデル地域における取組について、教育課程作成の支援ができた。

※〔取組Ⅰ〕〔取組Ⅱ〕の両方を含む事業全体の成果について、簡潔に記載すること。  
※必要に応じて、適宜、枠を広げること。

##### (4) 今後の取組予定

- 3年間のモデル地域の実践的な取組を基に、有識者からの指導助言を受けながら、本県の実態に応じた小中一貫のモデルを作成する。
- 鹿児島県としての小中連携、小中一貫教育について、モデル地域の研究・実践をリーフレットとしてまとめ、県内に発信し、取組を推進する。
- 県教育委員会ホームページに、小中一貫教育の先進的な取組事例を紹介する。

※〔取組Ⅰ〕〔取組Ⅱ〕の両方を含む事業全体の今後の取組予定について、簡潔に記載すること。  
※必要に応じて、適宜、枠を広げること。

## 4. 取組 I の実績

## (1) 取組のねらい

本県における小中一貫教育推進体制を構築し、モデル地域における取組を支援する。また、小中一貫教育に取り組んでいる小中一貫教育鹿児島県連絡協議会との連携を図りながら、取組の成果と課題を共有し、地域の特性に応じた小中一貫教育の在り方を検討する。モデル地域の取組については、随時、県下の市町村に情報提供し、取組の拡大を図る。

※〔取組 I〕において実施した具体的な取組のねらいについて、簡潔に記載すること。

※必要に応じて、適宜、枠を広げること。

## (2) 取組 I の実施状況（平成29年度）

6月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国との事業契約（6／2）</li> <li>・協力市町との委託契約（6市町：6／7）</li> </ul>
7月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「県小中一貫教育フォーラム」準備</li> </ul>
8月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「第1回鹿児島県小中一貫教育推進協議会」準備</li> </ul>
9月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「第1回鹿児島県小中一貫教育推進協議会」開催（進捗状況の確認、指導講話）（9／6）</li> </ul>
10月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・協力市町の取組状況確認</li> <li>・「県小中一貫教育フォーラム」を小中一貫教育鹿児島県連絡協議会と共催で実施（10／27）</li> </ul>
11月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・先進地研修視察計画</li> <li>・モデル地域取組状況視察（11／24いちき串木野市）</li> </ul>
12月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「第2回鹿児島県小中一貫教育推進協議会」開催（進捗状況の確認等）（12／18）</li> </ul>
1月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「小中一貫教育全国サミットin京都」参加（1／25・26）</li> <li>・先進地視察（1／26埼玉県，1／29千葉県）</li> <li>・鹿児島県版小中一貫教育リーフレット作成</li> </ul>
2月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・鹿児島県版小中一貫教育リーフレット作成</li> <li>・モデル地域取組状況視察（2／2奄美市）</li> </ul>
3月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・鹿児島県版小中一貫教育リーフレット作成・配布</li> <li>・事業まとめ</li> </ul>

※必要に応じて、適宜、行を追加すること。

※取組内容が分かる資料等がある場合は、適宜添付すること。

※本事業から経費を支出した事項（会議・研修会・フォーラム等の開催，視察，調査研究の委託など）については、必ず記載すること。

## (3) 取組の成果

- ・モデル地域における取組について、教育課程作成の支援ができた。
- ・県小中一貫教育フォーラムを開催し、県内におけるモデル地域の取組状況や先進地の状況について情報提供したことで、モデル地域以外の市町村においても小中一貫教育に取り組もうとする動きが見られるようになった。
- ・委託6市町の取組等を紹介したリーフレットを作成し、県内全小・中学校へ配布した。

※〔取組 I〕において実施した具体的な取組の成果について、簡潔に記載すること。

※必要に応じて、適宜、枠を広げること。

## (4) 今後の取組予定

○モデル地域での実践的な取組を通して、指導方法改善の具体的な取組を収集し、本県の実態に応じた小中一貫モデルを作成し、県下の市町村に還元する。  
 ○小中一貫教育鹿児島県連絡協議会と連携を図り、モデル地域での実践とともに取組の成果と課題を共有し、県下にその情報を提供することを通して、小中一貫教育の取組を推進する。

※ [取組Ⅰ] における来年度以降の取組予定について、簡潔に記載すること。

※必要に応じて、適宜、枠を広げること。

## 5. [取組Ⅱ] を実施した協力市町村教育委員会等

通し番号	教育委員会等の名称	
Ⅱ-1	いちき串木野市教育委員会	
Ⅱ-2	南さつま市教育委員会	
Ⅱ-3	鹿屋市教育委員会	
Ⅱ-4	東串良町教育委員会	
Ⅱ-5	南種子町教育委員会	
Ⅱ-6	奄美市教育委員会	

※必要に応じて、適宜、行を追加すること。また、通し番号は、Ⅱ-1, Ⅱ-2, …とすること。

## 事業成果報告書

## 〔取組Ⅱ〕市町村教育委員会等による小中一貫教育の域内全域での導入に向けた取組

通し番号

Ⅱ－１

※都道府県教育委員会において記載すること

1. 市町村教育委員会等の名称

:

住所	: いちき串木野市湊町1丁目1番地
代表者職・氏名	: 教育長 有村 孝

2. 取組の名称

: いちき串木野市小中一貫教育推進事業

3. 取組Ⅱの実績

(1) 取組のねらい

本市の小・中学校における大きな課題である学力の向上及びいじめ・不登校0をめざし、その一つの手段として小中一貫教育を行う。
--

※〔取組Ⅱ〕において実施した具体的な取組のねらいについて、簡潔に記載すること。

※必要に応じて、適宜、枠を広げること。

(2) 取組Ⅱの実施状況（平成29年度）

4月	・市校長研修会，教頭研修会での説明，協議（平成29年度の取組） ・小中一貫教育推進協議会（各中学校区の計画等）
5月	・市校長研修会での協議（各中学校区の乗り入れ授業の実施計画，合同研修会の実施計画） ・乗り入れ授業開始
6月	・市教務主任等研修会での協議（乗り入れ授業の指導計画等） ・小中一貫教育推進協議会（各中学校区の授業参観・研究協議） ・市小中学校英語・外国語活動部会での協議（乗り入れ授業に係る指導計画・研究協議） ・市教頭研修会での協議（1学期の成果と課題，夏季休業中における各中学校区の計画）
7月	・羽島中公開研究会（理科，外国語（英語）・外国語活動の授業公開） ・第1回市小中一貫教育推進協議会（校長・PTA会長。全学校区の3年次の取組計画及び実践報告等） ・第1回市小中一貫教育研修会（校長，代表教諭。1学期の取組の成果と課題，2学期以降の実施計画の協議）
8月	・小中一貫教育推進協議会（各中学校区での1学期の反省，2学期以降の計画等）
9月	・市教頭研修会での協議（各中学校区の進捗状況と2学期以降の取組計画）
10月	・県小中一貫教育フォーラム参加 ・第2回市小中一貫教育推進協議会（校長・PTA会長。2学期の推進状況，地域との連携） ・市教務主任等研修会における協議（次年度に向けた教育課程編成） ・小中一貫教育推進協議会（各中学校区の授業参観・研究協議）
11月	・生冠中公開研究会（社会，外国語（英語）の授業公開） ・先進地視察（広島県府中市） ・先進地視察（奈良県奈良市）
12月	・第2回市小中一貫教育研修会（モデル校校長，代表教諭。2学期の取組状況，3学期以降の計画等） ・小中一貫教育推進協議会（各中学校区での2学期の反省，3学期以降の計画等）
1月	・小中一貫教育推進協議会（各中学校区の授業参観・研究協議） ・小中一貫教育全国サミットin京都への参加

2月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第3回市小中一貫教育推進協議会（校長，PTA会長。3学期の実践，次年度計画等）</li> <li>・小中一貫教育推進協議会（各中学校区での年間の反省，次年度の計画等）</li> <li>・実践報告書作成</li> </ul>
3月	

※必要に応じて、適宜、行を追加すること。

※取組内容が分かる資料等がある場合は、適宜添付すること。

※本事業から経費を支出した事項（会議・研修会・フォーラム等の開催、視察、調査研究の委託など）については、必ず記載すること。

### (3) 取組の成果

<ul style="list-style-type: none"> <li>・小中一貫教育推進事業実践報告書作成</li> <li>・乗り入れ授業による連携強化(モデル校2中学校区英語・外国語活動計20回，他中学校区6回以上)</li> <li>・英語学力調査県平均以上（鹿児島学習定着度調査 英語 中1 県平均+5.4）</li> </ul>
---

※[取組II]において実施した具体的な取組の成果について、簡潔に記載すること。

※必要に応じて、適宜、枠を広げること。

### (4) 今後の取組予定

<ul style="list-style-type: none"> <li>・中学校の学力向上（5教科：県平均以上・・県学習定着度調査）</li> <li>・不登校の減少（前年度比-10%）</li> <li>・乗り入れ授業経験者の増加（教諭全体の5割）</li> </ul>
---

※[取組II]における来年度以降の取組予定について、簡潔に記載すること。

※必要に応じて、適宜、枠を広げること。

## 事業成果報告書

## 〔取組Ⅱ〕市町村教育委員会等による小中一貫教育の域内全域での導入に向けた取組

通し番号	Ⅱ－２
------	-----

※都道府県教育委員会において記載すること

1. 市町村教育委員会等の名称

住所 : 〒 8 9 7 - 0 0 0 3  
南さつま市加世田川畑 2 6 2 7 - 1

代表者職・氏名 : 教育長・出口 定昭

2. 取組の名称 : 南さつま市小中一貫教育推進事業

3. 取組Ⅱの実績

(1) 取組のねらい

- 小中学校の教師の交流を一層図り、相互の連携や資質能力の向上を図る。
- 2つの小学校が共通の取組（合同行事・学習指導等）を行い、小学校と中学校の有機的な接続を図る。
- 施設分離型の特性を生かした取組を工夫することで中期（小5～中1）の教育活動の充実を図る。
- 地区学校運営協議会の活性化を図り、学校支援を強化する。

※〔取組Ⅱ〕において実施した具体的な取組のねらいについて、簡潔に記載すること。

※必要に応じて、適宜、枠を広げること。

(2) 取組Ⅱの実施状況（平成29年度）

4月	○第1回管理職委員会（平成29年度の推進計画について）
5月	○第1回企画委員会（平成29年度の推進計画について） ○第1回乗り入れ授業（中学校施設参観） ○第1回合同研修会（中学校授業参観及び平成29年度の推進計画について）
6月	○第1回南さつま市小中一貫教育検討委員会（進取の風PJ-2017 平成29年度の推進計画について） ○第2回管理職委員会（第2回合同研修会について） ○第2回企画委員会（乗り入れ授業及び第2回合同研修会（夏季研修会）について）
7月	○第1回金峰地区学校運営協議会（各学校の年間計画・小中一貫教育への支援について） ○第2回乗り入れ授業（音楽：合唱コンクール全体合唱曲練習） ○中学校合唱コンクール参加（田布施小・阿多小6年） ○第2回企画委員会（第2回合同研修会（夏季研修会）について）
8月	○第2回合同研修会（夏季研修会）（鹿児島大学原田准教授の講演・教科領域等部会等） ○第2回南さつま市小中一貫教育検討委員会（進取の風PJ-2017 中間報告発表について）
9月	○第3・4回乗り入れ授業（教科 算数・理科） ○第3回南さつま市小中一貫教育検討委員会（進取の風PJ-2017 中間報告発表） ○第3回管理職委員会（「鹿児島小中一貫教育及びコミュニティ・スクールフォーラム」並びに南さつま市小中一貫教育研究大会について） ○第3回企画委員会（第2回合同研修会（「鹿児島小中一貫教育及びコミュニティ・スクールフォーラム」並びに南さつま市小中一貫教育研究大会について）
10月	○第5回乗り入れ授業（教科 体育） ○第4回管理職委員会（「鹿児島小中一貫教育及びコミュニティ・スクールフォーラム」並びに南さつま市小中一貫教育研究大会について） ○第4回企画委員会（第2回合同研修会（「鹿児島小中一貫教育及びコミュニティ・スクールフォーラム」並びに南さつま市小中一貫教育研究大会について） ○「鹿児島小中一貫教育及びコミュニティ・スクールフォーラム」並びに南さつま市小中一貫教育研究大会（研究発表及びシンポジウム等）発表
11月	○第6回乗り入れ授業（教科 図工） ○第3回合同研修会（田布施小学校全クラス公開授業・教科領域等部会・各部会等） ○第4回南さつま市小中一貫教育検討委員会（進取の風PJ-2017 まとめ報告発表）
12月	○第5回管理職委員会（研究のまとめ・教育課程編成について） ○第5回企画委員会（研究のまとめ・教育課程編成について）

1月	<ul style="list-style-type: none"> <li>○金峰地区合同学校保健会（講演・合同学校保健会）</li> <li>○第2回金峰地区学校運営協議会（各学校の取組・小中一貫教育等への支援について）</li> <li>○第4回合同研修会（阿多小学校全クラス公開授業・教育課程編成及び推進計画）</li> <li>○金峰地区国語科合同研修会（阿多小学校）</li> </ul>
2月	<ul style="list-style-type: none"> <li>○田布施小学校・阿多小学校合同体育（バスケットボール）</li> <li>○第6回管理職委員会（教育課程編成について）</li> <li>○第6回企画委員会（教育課程編成について）</li> <li>○研究のまとめ完成</li> </ul>
3月	

※必要に応じて、適宜、行を追加すること。

※取組内容が分かる資料等がある場合は、適宜添付すること。

※本事業から経費を支出した事項（会議・研修会・フォーラム等の開催、視察、調査研究の委託など）については、必ず記載すること。

### (3) 取組の成果

- 年4回の授業を通した小中合同研修会等の実施により、小中学校の職員間の協力関係が構築できた。
- 年6回の乗り入れ授業の実施により、小中学校の職員間の授業に関する意識改革を図ることができた。
- 2小学校の合同行事（宿泊学習・合同音楽会・合同体育）の実施により、小学校間の連携が深まった。
- 2小学校の「生活の心得・学習のきまり」の共通項目の設定や同一の「クラスルームイングリッシュ」「漢字・計算力テスト」を実施により、中学校での学習の積み上げをスムーズにすることができた。
- 小中合同行事（小中合同音楽会）を実施により、小中学校の連携を図ることができた。
- 9年間を見通した教育課程（一部の教科領域及び行事等）の作成により、小中学校の接続が円滑になった。
- 3校CSカレンダーの作成など、地区学校運営協議会の機能化により、学校支援が充実した。

※〔取組Ⅱ〕において実施した具体的な取組の成果について、簡潔に記載すること。

※必要に応じて、適宜、枠を広げること。

### (4) 今後の取組予定

- 全教科の乗り入れ授業や合同研修会の内容の充実による教職員の連携の深化。
- 9年間の系統性を確保した教育課程の作成。
- 9年間を見通した道徳科へ向けた、授業を通した指導法の研究の実施。
- 小学校と中学校の円滑な接続を目指した、小学校外国語科の実践的研究の実施。

※〔取組Ⅱ〕における来年度以降の取組予定について、簡潔に記載すること。

※必要に応じて、適宜、枠を広げること。

## 事業成果報告書

## 〔取組Ⅱ〕市町村教育委員会等による小中一貫教育の域内全域での導入に向けた取組

通し番号

Ⅱ－３

※都道府県教育委員会において記載すること

1. 市町村教育委員会等の名称

:

住所	: 〒893-8501 鹿児島県鹿屋市共栄町20-1
代表者職・氏名	: 教育長 中野 健作

2. 取組の名称 : 鹿屋市小中一貫教育推進事業

3. 取組Ⅱの実績

(1) 取組のねらい

各学校の課題解決を図るための有効な方法としての小中一貫教育の在り方を、モデル校での実践的研究を通して明らかにするとともに、その成果の普及により、学校段階間の連携や小中一貫教育の一層の推進を図る。
---

※〔取組Ⅱ〕において実施した具体的な取組のねらいについて、簡潔に記載すること。

※必要に応じて、適宜、枠を広げること。

(2) 取組Ⅱの実施状況（平成29年度）

4月	
5月	統一した学力・学習状況等の調査（市内全小中学校でNRT学力検査を実施） 小中一貫した学習指導・学業指導・生活指導等の共通実践事項の位置付け 小中合同の連絡協議会の開催（月1回の開催）
6月	各校による相互乗り入れ授業の継続実施（算数・数学科、体育科、英語科等）
7月	
8月	
9月	
10月	鹿屋市小中一貫教育推進委員会 ・「鹿屋市小中一貫教育ステップ5」の確認について（9か年を見据えた教育課程・年間指導計画・教科系統表や地域の教育力や特性を活かした教育計画等） ・小中一貫教育とコミュニティ・スクールについて ・学びの連続性を重視した計画的・体系的な授業や異学年交流活動の企画と実施 小中一貫教育及びコミュニティ・スクールフォーラムへの参加（南さつま市）
11月	
12月	
1月	鹿屋市小中一貫教育推進委員会 ・本年度のまとめと来年度の方向性 ・平成30年度からの小中一貫教育推進に係るガイドブック検討 小中一貫教育全国フォーラムへの派遣 ・小中一貫教育の質の向上のための効果的な教職員研修



2月	市内全小中高等学校の関係者を対象とした小中一貫教育の講演会の開催（学校教育実践発表会） 小中一貫教育の成果・課題の把握のための児童生徒・教職員・保護者等へのアンケートの実施（指定校） 小中一貫教育における学習成果や生徒指導面の成果等についての分析 ・平成30年度からの小中一貫教育推進に係るガイドブック作成
3月	

※必要に応じて、適宜、行を追加すること。

※取組内容が分かる資料等がある場合は、適宜添付すること。

※本事業から経費を支出した事項（会議・研修会・フォーラム等の開催、視察、調査研究の委託など）については、必ず記載すること。

### (3) 取組の成果

<ol style="list-style-type: none"> <li>1 「鹿児島県小中一貫教育及びコミュニティ・スクールフォーラムin南さつま」に教職員及び地域の方々を参加させることで、小中一貫教育及びコミュニティ・スクールについての認識が深まるとともに、実践への意欲付けにつながった。</li> <li>2 小中一貫教育全国フォーラムへモデル校から6人を派遣することで、小中一貫教育の今後の動向や具体的な進め方について研修することができた。研修内容を各学校の取組に活かすことができた。</li> <li>3 小中一貫教育連絡協議会を毎月開催することで、合同学校行事や相互乗り入れ授業等が計画的に実施できた。</li> <li>4 学校教育実践発表会において、小中一貫教育の講演を実施することで学校関係者や地域・保護者に対して小中一貫教育の必要性を伝えるとともに実践に向けた意欲付けができた。</li> <li>5 モデル校の取組や鹿屋市としての小中一貫教育の方向性等についてまとめた小中一貫教育ガイドブックの作成できた。</li> <li>6 小中一貫した学習指導・学業指導・生活指導等の共通実践事項の実施により、モデル校の学力向上や生徒指導の充実が図られた。</li> <li>7 小中合同のコミュニティ・スクールを推進することで、地域の教育力を生かした体験活動等の実施が充実してきている。</li> <li>8 学びの連続性を重視した計画的・体系的な授業や異学年交流活動、合同学校行事の実施ができた。</li> </ol>
---

※〔取組Ⅱ〕において実施した具体的な取組の成果について、簡潔に記載すること。

※必要に応じて、適宜、枠を広げること。

### (4) 今後の取組予定

<ol style="list-style-type: none"> <li>1 「鹿屋市型小中一貫教育のガイドブック」「鹿屋市小中一貫教育ステップ5」にそって小中一貫教育の取組を全小中学校で推進していく。</li> <li>2 地域と共にある学校づくりに向けた取組を推進していく。</li> <li>3 小中一貫教育の質の向上のための研修（講演会や研修視察等）を実施していく。</li> <li>4 モデル校及びプロジェクトチームによる学校教育実践発表会等での研究成果の発表及び還元</li> </ol>
---

※〔取組Ⅱ〕における来年度以降の取組予定について、簡潔に記載すること。

※必要に応じて、適宜、枠を広げること。

## 事業成果報告書

## 〔取組Ⅱ〕市町村教育委員会等による小中一貫教育の域内全域での導入に向けた取組

通し番号

Ⅱ－４

※都道府県教育委員会において記載すること

1. 市町村教育委員会等の名称 : 東串良町教育委員会

住所 : 鹿児島県肝属郡東串良町川西  
1543番地

代表者職・氏名 : 東串良町教育委員会教育長・天神康男

2. 取組の名称 : 東串良町小中一貫教育推進事業

3. 取組Ⅱの実績

(1) 取組のねらい

子供の発達や学習者の意欲・能力等に応じた柔軟かつ効果的な教育システムの構築に向け、小中一貫教育推進事業を通じて、子供の成長に応じた小・中学校間の円滑な接続のための取組を推進する。

※〔取組Ⅱ〕において実施した具体的な取組のねらいについて、簡潔に記載すること。

※必要に応じて、適宜、枠を広げること。

(2) 取組Ⅱの実施状況（平成29年度）

4月	
5月	
6月	ア 小中一貫教育推進会議の開催（町小中一貫教育担当者及び委嘱した地域人材等による第1回地域教育会議の開催、平成29年度年間計画・推進体制及び教育課程全体計画等の確認・検討） エカ 第1回3校合同避難訓練の実施 オ 小中教職員による相互乗り入れ授業の実施（各小学校会場：中学校英語教員による出前授業の実施）
7月	ウ 小中一貫教育カリキュラム研究会での小中一貫カリキュラムの検討（主に外国語科、道徳、算数・数学科について町が委嘱した委員等で検討） ※ 重点目標等の設定に向けた実態調査等の検討
8月	ア 小中一貫教育推進会議の開催（町小中一貫教育担当者会議における平成29・30年度の年間計画・推進体制の確認、取組状況に対する評価方法の確認・検討） イ 小中一貫教育実践発表会の開催（小中一貫教育の推進に係る町内小中全教職員及び保護者、地域住民等の参加による発表会の開催） ウ 小中一貫教育カリキュラム研究会での小中一貫カリキュラムの検討（主に外国語科、道徳、算数・数学科について町が委嘱した委員等で検討） ※ 県総合教育センター研究提携校訪問等を生かしたカリキュラム検討会（今後の作成分担についての協議） エ 町特別支援教育担当者会の開催（町内特別支援担当者等による合同研修会の開催） オ 児童生徒間の相互交流活動の推進（小6児童の中学校部活動体験、小中合同地域ボランティア活動）
9月	ア 町校長研修会における小中一貫教育の推進に係る平成30年度教育課程全体計画の確認・検討 イ 国語担当者合同授業研究会の開催（県授業サポート推進校訪問時における合同研修会の開催）

10月	<p>ア 小中一貫教育推進会議の開催（町小中一貫教育担当者会議における平成29・30年度の年間計画・推進体制の確認，取組状況に対する評価）</p> <p>イ 県小中一貫教育フォーラムへの出席（南さつま市会場：先進的な取組に対する研修機会の設定）</p> <p>ウ 小中教職員による相互乗り入れ授業の実施（東串良中学校会場：中学校教員による出前授業の実施，小学校陸上記録会時における中学校体育担当教員の講評等）</p> <p>エ 児童生徒間の相互交流活動の推進（小学校運動会における中学生参加・役員としての協力）</p>
11月	<p>ア 第2回3校合同避難訓練の実施</p> <p>イ 図画指導法講習会の開催（町内図工・美術担当者等による合同研修会の開催）</p> <p>ウ 小中教職員による相互乗り入れ授業の実施（小中音楽担当教員による出前授業の実施）</p>
12月	<p>ア 小中一貫教育推進会議の開催（町小中一貫教育担当者会議における平成29・30年度の年間計画・推進体制の確認，取組状況に対する評価）</p> <p>イ 小中教職員による相互乗り入れ授業の実施（各小学校会場：中学校英語教員による出前授業の実施）</p> <p>ウ 児童生徒間の相互交流活動の推進（小中合同英語活動スピーチ大会の実施）</p> <p>エ 児童生徒間の相互交流活動の推進（小中合同地域ボランティア活動，えびの市小中一貫校等交流体験研修：小4～中1児童生徒）</p>
1月	<p>ア 町校長研修会における小中一貫教育の推進に係る平成30年度教育課程全体計画の確認・検討</p> <p>イ 小中一貫教育カリキュラム研究会での小中一貫カリキュラムの策定（主に外国語科，道徳，算数・数学科について町が委嘱した委員等で検討） ※ 作成がなされたカリキュラム原案についての検討・修正を行う。</p> <p>ウ 小中一貫教育全国サミットへの参加（京都市：先進的な取組に対する研修機会の設定）</p> <p>エ 国語科担当者合同授業研究会の開催（県授業サポート推進校訪問時における合同研修会の開催）</p> <p>オ キャリア教育推進計画の作成に向けた郷土人材の派遣（3校で一斉に行う郷土検定実施時における郷土人材の派遣）</p>

2月	<p>ア 小中一貫教育推進会議の開催(町小中一貫教育担当者及び委嘱した地域人材等による第2回地域教育会議の開催,平成29年度の取組状況についての評価,平成30年度年間計画・推進体制及び教育課程全体計画等の確認・検討,キャリア教育推進計画の検討)</p> <p>イ 第2回小中一貫協議会及び相互授業参観の開催(柏原小会場:町内小中全教職員による合同職員研修会の実施,小中一貫カリキュラムの確認)</p> <p>ウ 小中教職員による相互乗り入れ授業の実施(各小学校会場:中学校英語教員による出前授業の実施)</p> <p>エ 児童生徒間の相互交流活動の推進(ルーピン少年の主張発表大会の開催)</p>
3月	<p>ア 平成30年度小中一貫教育開始に向けた体制整備(町管理職研修会における次年度計画の確認)</p>

※必要に応じて、適宜、行を追加すること。

※取組内容が分かる資料等がある場合は、適宜添付すること。

※本事業から経費を支出した事項(会議・研修会・フォーラム等の開催、視察、調査研究の委託など)については、必ず記載すること。

### (3) 取組の成果

ア	<p>小中一貫教育の推進に向けた体制整備 教務主任及び職員研修係,各学校区コミュニティ協議会長,各校PTA会長,町主任児童委員等を小中一貫教育推進委員に委嘱し,地域教育会議を年2回開催したことで,管理職中心で進められていた教育課程全体計画の策定や体制整備が,学校職員や保護者,地域等での検討につながってきた。また,年3回の小中一貫協議会に各教科等部会を設置したことで,小中一貫教育についての校種を超えた理解が進むとともに,各教科部会による合同研修の機会が増えた。さらに,保護者や町民を交えた小中一貫教育に係る実践発表会をシンポジウム形式で開催したことで,小中一貫に係る地域の理解が質疑等から具体的に深まるとともに,2小1中の家庭教育共通実践事項が町PTA連絡協議会長の提案により定まるなど,教職員中心で進めたい体制整備が保護者・地域まで浸透してきた。</p>
イ	<p>小中一貫教育の推進に係る教育課程全体計画の策定 義務教育9年間で目指す児童生徒の姿の実現に向けて,教育課程全体計画の整理・統合及び設定を教務主任研修会等を中心に進めている。検討の過程で,学校教育目標や重点目標,研修テーマを揃えることに加えて,平成30年度の各校教育課程冊子における共通頁の挿入など,積極的な検討と作成が進められた。</p>
ウ	<p>小中一貫カリキュラムの作成 小中9年間の系統性や連続性を重視した小中一貫カリキュラムの作成に取り組んでいる。3年次となる本年度は,次年度から小学校で全面実施となる「特別の教科 道徳」及び次期学習指導要領実施を見据えた外国語科等について各校の教頭や研修係等で組織する小中一貫教育カリキュラム研究会で研究を進めた。具体的には,道徳において,2小1中での共通様式による「道徳性に関するアンケート」を実施し,小中9年間で重点内容項目の設定を検討したり,外国語活動と英語科を接続する「表現の系統表」の見直しをしたりした。また,前年度まで研究した算数・数学科のカリキュラム資料を合同授業研究会等の機会に生かし,小中9年間で重視すべき見方・考え方に係る教職員の理解を深めるようにした。(本年度の鹿児島学習定着度調査第1学年数学科の正答率等において,改善の様相が現れた。)</p>
エ	<p>小中教職員による合同職員研修会の実施 町内全教職員参加の小中一貫協議会及び相互授業参観を開催するとともに,指導力向上を図る合同研修会を計画・実施した。</p>
オ	<p>小中教職員による相互乗り入れ授業の実施 平成24年度から継続して本年度も(理科,外国語,音楽,体育等を中心に)実施している。特に,県小中一貫加配が配置がなされた理科については免許所有者が2小1中5学級の授業を担当(兼務)するなど,小学校高学年における一部教科担任制につながる取組がなされた。</p>
カ	<p>児童生徒間の相互交流活動の推進(地域生徒会等) 6年生を対象とした部活動体験や地域生徒会活動に加えて音楽会や英語活動大会等を2小1中合同で開催し幅広い児童生徒交流を進めている。また,本年度は,小学校上学年と中学1年生を対象とした小中一貫宿泊体験活動を開催し,小中一貫推進リーダーの育成や中1ギャップの解消を図るようにした。</p>

※〔取組Ⅱ〕において実施した具体的な取組の成果について,簡潔に記載すること。

※必要に応じて,適宜,枠を広げること。

### (4) 今後の取組予定

ア	<p>小中一貫教育の推進に向けた体制整備(小中一貫教育推進協議会(地域教育会議)の開催,取組状況評価の結果を踏まえた体制や実施計画の見直し,教職員の業務改善を図るICT整備・拡充)</p>
イ	<p>小中一貫教育の推進に係る教育課程全体計画の策定及び見直し</p>
ウ	<p>小中一貫カリキュラムの作成(主に国語科・社会科・理科について,町小中一貫教育カリキュラム研究会で検討)</p>
エ	<p>小中教職員による合同職員研修会の実施・促進(各教科等部会主催研修会の充実)</p>
オ	<p>小中教職員による相互乗り入れ授業の実施(複数教科での小学校高学年における一部教科担任制の実施)</p>
カ	<p>児童生徒間の相互交流活動の推進(児童会と生徒会の連携強化)</p>
キ	<p>小中9か年におけるキャリア教育推進計画に基づく取組の充実</p>

※〔取組Ⅱ〕における来年度以降の取組予定について,簡潔に記載すること。

※必要に応じて,適宜,枠を広げること。

## 事業成果報告書

## 〔取組Ⅱ〕市町村教育委員会等による小中一貫教育の域内全域での導入に向けた取組

通し番号

Ⅱ－５

※都道府県教育委員会において記載すること

1. 市町村教育委員会等の名称 : 南種子町教育委員会

〒891-3792
住所 : 鹿児島県熊毛郡南種子町 中之上2793-1
代表者職・氏名 : 教育長 遠藤 修

2. 取組の名称 : 南種子町小中一貫教育推進事業

3. 取組Ⅱの実績

(1) 取組のねらい

学びをつなぐ：9年間を見通した系統性・連続性のある教育活動の推進 育ちをつなぐ：社会的な自立を目指す積極的な生徒指導の推進 人をつなぐ：地域に開かれた学校づくりの推進
---

※〔取組Ⅱ〕において実施した具体的な取組のねらいについて、簡潔に記載すること。  
 ※必要に応じて、適宜、枠を広げること。

(2) 取組Ⅱの実施状況（平成29年度）

4月	南種子町第1回小中連携研修会 ・大館市学校視察研修の報告と南種子町における小中一貫教育の方針説明
5月	集合学習打合せ会（小小連携），交流学习打合せ会（小中連携）
6月	集合学習の実施（3年，4年），交流学习の実施（5年，6年）
7月	第1回小中一貫教育推進委員会，第1回小中一貫教育推進部会 ・集合学習，交流学习の充実 ・9年間を見通したカリキュラム作成計画提案 集合学習（小小連携）・交流学习打合せ会（小中連携）
8月	
9月	
10月	小中一貫教育フォーラム（南さつま市）への参加 第2回小中一貫教育推進委員会 ・9年間を見通したカリキュラムの検討
11月	集合学習の実施（1年～4年），交流学习の実施（5年～6年）
12月	
1月	集合学習打合せ会（小小連携），交流学习打合せ会（小中連携）

2月	集合学習の実施（1年～4年），交流学習の実施（5年～6年） 南種子町第2回小中連携研修会 南種子町小中一貫教育推進会議
3月	第3回小中一貫教育推進委員会 ・平成30年度小中一貫教育の実施内容について ・9年間を見通したカリキュラムの共通理解・共通実践に向けて

※必要に応じて、適宜、行を追加すること。

※取組内容が分かる資料等がある場合は、適宜添付すること。

※本事業から経費を支出した事項（会議・研修会・フォーラム等の開催、視察、調査研究の委託など）については、必ず記載すること。

### (3) 取組の成果

<ul style="list-style-type: none"> <li>・理科や外国語活動について、年間を通して乗り入れ授業を行い、中1ギャップ解消に向けた取組を推進することができた。</li> <li>・児童生徒の実態を把握し、算数科・数学科の関数領域において9年間を見通したカリキュラムを作成し、小中学校間で共通理解を図ることができた。</li> <li>・小中一貫教育に関するリーフレットを作成・配布し、各学校だけでなく、保護者や地域にも本取組について広く知っていただくことができた。</li> </ul>
---

※〔取組Ⅱ〕において実施した具体的な取組の成果について、簡潔に記載すること。

※必要に応じて、適宜、枠を広げること。

### (4) 今後の取組予定

<ul style="list-style-type: none"> <li>・教職員の交流，合同研修による授業力・指導力の向上</li> <li>・小中連携による小学校学習指導要領移行期における外国語活動の授業の充実に向けた小中連携加配の活用</li> <li>・一校一運動の推進（「チャレンジかごしま」等の活用，県指定研究授業での成果の共有等）</li> </ul>
---

※〔取組Ⅱ〕における来年度以降の取組予定について、簡潔に記載すること。

※必要に応じて、適宜、枠を広げること。

## 事業成果報告書

## 〔取組Ⅱ〕市町村教育委員会等による小中一貫教育の域内全域での導入に向けた取組

通し番号

Ⅱ－６

※都道府県教育委員会において記載すること

1. 市町村教育委員会等の名称 : 奄美市教育委員会

住所	: 〒894-0026 奄美市名瀬港町13番1号
代表者職・氏名	: 教育長・要田 憲雄

2. 取組の名称 : 奄美市小中一貫教育推進事業

3. 取組Ⅱの実績

(1) 取組のねらい

奄美市立東城小中学校を推進モデル校とし、先進地視察や全国サミット等を通して研修を深めながら、9年間を見通した「つなげる」教育を実践し、それらの成果を公開し、奄美市における小中一貫教育の浸透を図る。
--

※〔取組Ⅱ〕において実施した具体的な取組のねらいについて、簡潔に記載すること。  
※必要に応じて、適宜、枠を広げること。

(2) 取組Ⅱの実施状況（平成29年度）

4月	モデル校における3年目の取組についての指導・助言 平成29年度奄美市小中一貫教育推進事業の周知（管理職研修会）
5月	鹿児島大学教育学部准教授による指導講話
6月	モデル校における研究推進に係る指導主事訪問
7月	小中合同研究授業研修（中学校教諭による小学校保健体育） 串木野市羽島中校区授業公開参加
8月	研究公開に向けた協議
9月	モデル校における研究推進に係る指導主事訪問 研究公開に向けた協議
10月	小中合同研究授業研修（道徳） 鹿児島県小中一貫教育フォーラムへの参加
11月	串木野市生冠中学校区授業公開参加 小中一貫教育小規模校全国サミット（奈良）への参加
12月	市内各中学校区における小中一貫教育への取組状況ポスター作成 研究公開に向けた協議
1月	小中一貫教育全国サミット（京都）への参加

2月	東城小中学校研究公開 「あまみっ子」ジョイントプランの実施状況調査
3月	次年度における小中一貫教育推進計画の策定 出前授業の実施 小学生の中学校への体験入学実施

※必要に応じて、適宜、行を追加すること。

※取組内容が分かる資料等がある場合は、適宜添付すること。

※本事業から経費を支出した事項（会議・研修会・フォーラム等の開催、視察、調査研究の委託など）については、必ず記載すること。

### (3) 取組の成果

- 研究公開を行うことで、授業や資料等を通して実践の一端を周知し、奄美市のみならず大島地区における各校の小中一貫教育の意識を高めることができた。
- 乗入授業（算数、保健体育）や合同授業（音楽、外国語、総合）を行うことで、小中間の円滑な接続（中1ギャップの解消）につなげることができた。
- 教職員が校内研修や先進地視察を通して、改めて小中一貫教育の必要性を感じ、次年度の更なる取組の充実に向けた意識改革につなげることができた。
- 市内各中学校区で现阶段の取組状況ポスターを作成させ、それを全校で共有することで、相互の実践の取組について理解を深めることができた。

※ [取組Ⅱ] において実施した具体的な取組の成果について、簡潔に記載すること。

※必要に応じて、適宜、枠を広げること。

### (4) 今後の取組予定

- 各中学校区における「あまみっ子」ジョイントプランの充実
- 小中一貫を意識した児童生徒会活動の推進
- 発達の段階を踏まえた小中共通実践事項による授業改善
- 小中合同行事実施の促進

※ [取組Ⅱ] における来年度以降の取組予定について、簡潔に記載すること。

※必要に応じて、適宜、枠を広げること。